

全国学力・学習状況調査から見る 東伊豆町の子供たち

東伊豆町教育委員会

(1) 調査の目的

各学校の子供たちの学力や学習の様子を把握・分析することで、授業などの教育活動の成果と課題について見直し、必要に応じて改善していく。

(2) 調査の対象

町内全ての小学校6年生と中学校3年生

(3) 調査の内容

- 教科に関する調査（小学校：国語、算数 中学校：国語、数学、英語）
- 学習意欲、学習方法、学習環境や生活習慣等に関する質問紙調査



調査結果の概要

(1) 教科の状況

【小学校の平均正答率】（全国に比べて：☆☆高い ☆やや高い 一同程度 ★やや低い ★★低い）

国語	話す聞くこと	書くこと	読むこと	言語	算数	数と計算	量と測定	図形	数量関係
	☆	☆	☆☆	☆☆		☆☆	—	★★	—
<p>○目的を意識しながら読み、文字数などの簡単な条件を満たしながら読み取った内容について書いてまとめる問題の正答率が高かったです。</p> <p>○文の意味を考えながら、接続詞を使って二つの文に分ける問題の正答率が高かったです。</p> <p>▲複数の文章から読み取った内容を、一つの文章にまとめながら書けない子供が多かったです。</p> <p>▲「調査のタイショウ」「カンシンをもつ」など同音異義語を漢字で書けない子供が多かったです。</p>					<p>○『$6+0.5\times 2$』のような、足し算とかけ算が混合した計算の正答率が高かったです。</p> <p>○10組目で待っていたら、何秒後にゴンドラに乗れるかについて、必要な数量を選んで立式する問題の正答率が高かったです。</p> <p>▲二つの合同な図形を組み合わせて、他の図形を作る問題の正答率が低かったです。</p> <p>▲AはBの何倍ですか、という割合について問う問題の正答率が低かったです。</p>				

【中学校の平均正答率】（全国に比べて：☆☆高い ☆やや高い 一同程度 ★やや低い ★★低い）

国語	話す聞くこと	書くこと	読むこと	言語	数学	数と式	図形	関数	資料の活用
	☆	☆	★	★★		☆☆	—	☆☆	☆
<p>○自分が選んだ短歌について、感じたことや考えたことを書く問題の正答率が高かったです。</p> <p>○話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをもったり分かりやすく発言したりする問題の正答率がやや高かったです。</p> <p>▲封筒に、送付先の名前や住所を正しく書く問題の正答率が低かったです。</p> <p>▲新聞記事におけるリード文を読み、その役割について捉える問題の正答率が低かったです。</p>					<p>○連立方程式を正しく解いたり、反比例の表から式を求めたりするなど、数学的な技能がしっかりと身につけている生徒が多かったです。</p> <p>○冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表したグラフの座標の差を、事象に即して解釈する問題の正答率が高かったです。</p> <p>▲資料から捉えられる全体の傾向を根拠としながら、数学的な表現を使って説明する問題の正答率が低かったです。</p>				
英語	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	<p>○英文の内容を正しく読み取る問題の正答率が高く、知識がしっかり身につけていました。</p> <p>○出身地などの与えられた語を使って、人物を説明する簡単な英文を書く問題の正答率が高かったです。</p> <p>▲ある状況を説明する英語や英会話から、情報を正しく聞き取る問題の正答率が低かったです。</p> <p>▲留学生の音声メッセージを聞いて把握した情報を基にしながら、質問に適切に応じることができない生徒が多かったです。</p>				
	—	参考値	★	☆					

☆ 調査結果の分析を、学校での授業改善に生かします

《 国 語 》

- 読み取った文章の内容について、要旨や自分の考えをまとめて書く学習を充実させます。
- 語彙の量を増やせるように配慮します。
 - ・本や新聞を読むことを大切にして、新たな言葉と出会えるようにします。
 - ・同音異義語について、漢字の意味と結びつけながら理解を深めます。
- 手紙や葉書を書くことなどを通して、日本語に関する基礎的な知識が習得できるようにします。



《算数・数学》

- 図形を組み合わせて模様を描くような、楽しみながら図形を学べる算数的活動を大切にします。
- 買い物などの場面と結びつけながら、発達段階に応じて割合の考え方に触れられるようにします。
- なぜその計算になるのか、どのように解くのかなどを友達と話し合う時間を確保し、数学的な表現を用いて説明する力を高めます。

《 英 語 》

- ALTと協力しながら、目的をもって英語を聞き取る機会を小学校から増やします。
- 英語で、自分の意見や考えを書く力を小学校高学年から段階的に高めていきます。

(2) 生活や学習の状況（質問紙調査における全国と比較した割合）

	割合が高い・やや高いあられ	割合が低い・やや低いあられ
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○普段、1時間以上勉強している。 ○地域の行事に参加している。 ○月に数回、図書館を訪れる。 ○日本や東伊豆を外国の人に知ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲毎日同じくらいの時刻に寝ている。 ▲読書が好き。 ▲難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 ▲将来の夢や目標を持っている。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の行事に参加している。 ○毎日、1時間程度の読書をしている。 ○月に数回、図書館を訪れる。 ○部活動に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲普段、1時間以上勉強している。 ▲学校の規則を守っている。 ▲難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 ▲自分にはよいところがある。

☆ 調査結果から見える東伊豆町の子供たちのよさや課題

- 地域の行事に参加しているという子供がとても多いです。地域と学校が一体となって子供たちを育てていることが分かります。
- 小学校から中学校になるにつれて、自分の将来について考える機会が増え、夢や目標を持てるようになっていく様子が分かります。キャリア教育の充実にも今後努めていきます。
- ▲図書館を訪れたり、読書の時間を確保したりする子供は多いのですが、読書が好きと答えた子供の割合がやや低いです。町の図書館や司書教諭と連携しながら、読書指導を充実させていきます。
- ▲中学校では、放課後の時間が減ったり部活動があったりするなど忙しくなりますが、毎日1時間程度の学習時間は確保するように働きかけていきます。
- ▲困難なことに対してやや慎重な面があるようです。失敗を恐れず挑戦していくことの大切さが感じられるような機会を大切にしていきます。



地域とともにある学校づくりの推進

東伊豆町の小中学校では、地域のことを題材として調べたり、地域の人と関わったりして、積極的に地域と関わりながら学習を進めています。また、保護者や地域の方々に、学校の美化、学習の補助、登下校の見守り、放課後支援、学校行事の運営など、学校教育を支えていただいております。

小中学校では、地域のために自分は何ができるか考える学習をさらに充実させていきます。地域の皆様には、「支える」立場から学校に積極的に関わっていただき、保護者の皆様にはこれまでと同様に、子供たちが地域の行事等に積極的に参加するよう働きかけていただきたいと思います。これらの活動やふれあいを通して、子供たちは、東伊豆町のよさや魅力を再発見し、地域への愛着をさらに深め、これからのまちの在り方を自分ごととして考えるようになっていくことでしょう。

子供はこれからの未来、これからの東伊豆をつくる私たちの宝です。学校、家庭、地域が一体となって、子供たちの力を伸ばしていきましょう。

